

令和6年度 児童朝会 (講話78)

令和6年7月8日【ぬし 1】

おはようございます。新しい紙幣見ましたか？校長先生はまだですね。

先週のお題は「皆さんが考える、良いマナーの行動ってどんなことがあるでしょうか？」と「外国の観光客におすすめしたい、日本の食べ物」でした。マナーの方は、正座、謙虚さなどがありました。すばらしいですね。食べ物の方には、たこやき、いちごあめ、みそ汁、おでんなどたくさんできました。書いていただいたみなさん、本当にありがとうございました。

さて、今日はこの漢字「主」です。主人公の主など「しゅ」と読みますが、千と千尋のアニメで龍のハクを知っていますか。彼は川の主でした。「ぬし」とも読みます。そこの中心にいる人という意味ですね。

実はみなさんの身の回りの学校生活で、子どもが主人公になってきているものがあります。なにかな？

授業です。実は5年前に文部科学省は子どもが主人公の授業をしなさいと指示を出しました。子どもが主人公になっている授業ってどんなものでしょうか？

子ども同士で学び合う授業です。例えばペアやグループで聞き合ったり、先生に言われなくてもタブレットで調べたり、お友だちと支え合って学んだり…、また文部科学省は、子ども同士が聞き合う、深く考える授業をするようにとも指示を出しました。大隅西小では、皆さんがこれらにまじめに取

り組み、大阪市で最もこれらを進めた学校の一つになりました。だから最近いろんな人が全国から見に来て、お手本にしようとしているのですね。

では、なぜ文科省は「子どもが主人公」の勉強に変えようと思ったのでしょうか？

1つ目の理由は、世界の学校は30年も前から子ども主人公にかかわっていました。日本は30年前と変わらない勉強方法で、経済の遅れにもつながったとも言われています。

2つ目の理由は、コンピューターが発達して今までの勉強方法では将来困るかもしれないからです。今世の中にある職業は10年後には半分になるとも言われています。将来自分のしたい仕事なくなっているかもしれません。じゃあどうするの？会社やお店を自分で起業する方法があります。そのとき必要な力は、自分が主人公になって、自分がやりたいことを考える力です。人に言われて何かをする力も大切ですが、これからは、自分で考えて自分の夢をかなえていく力も大切になります。だから小学校の授業も、子どもを主人公にするようになったのです。

3つ目の理由。皆さんはスポーツ、ダンス、ゲームなど自分が好きなことを

①人から言われてやりたいですか？それとも

②自分から進んでやりたいですか？

当然②ですね。学校のお勉強もほぼ

同じで、さらに嫌いな教科でもしなくてははいけません。そのとき、自分のためになるのはどっちでしょう？

①人から言われてする

②自分から進んでする

もちろん②です。当たり前ですが、人から言われて何かをしてもおもしろくありません。おもしろくないので、さぼったり、怠けたりします。

そこで文科省は、①世界に追いつき ②将来自分の夢を叶えやすく ③自分から進んで行う力を身に着けるために、授業を子ども主人公に変えたのでした。

このように、みなさんの授業は子どもが主人公になっていますが、学校生活の中で、そうっていない時間はないのでしょうか？ ヒント、おもしろくない顔をしていたり、さぼったりする人がいそうな時間です。

お掃除の時間が、子ども主人公になっていないですね。先生に決めてもらった場所を、当番でまじめにしています。では、もっと楽しくお掃除するためには、子どもが主人公になればいいですよ。

そんな学校があるということで、富山県の堀川小学校をみてきました。画像をみてください。とてもきれいな校舎ですね。掃除の時間におしゃべりをしていたり、さぼっていたりする子どもは一人もいませんでした。一人一人がまじめに、楽しそうにお掃除していました。

では、子どもが主人公になるお掃除ってどうしたらいいのでしょうか？

少し周りの人と聞き合ってみてください。ヒント、掃除をする前に、自分の名前の磁石を地図に貼っていましたよ。

では、皆さんの考えを聞かせてください。

「自分で決めた場所を、先生の許可をもらって掃除をすればいいと思います。」「一生懸命がんばればいいと思います。」なるほど、いろいろ良いアイデアがでましたね。ではこれを今週のお題としますので、いい考えが浮かんだ人は校長室前のボードに書きにきてください。

今日も最後まで静かに聞いていただきありがとうございました。